

財務状況把握の結果概要（簡略版）

（対象年度：令和3年度）

釧路財務事務所作成

羅臼町

総合評価

債務償還能力

〔地方債等の債務の大きさと、その償還原資を確保する能力〕

資金繰り状況

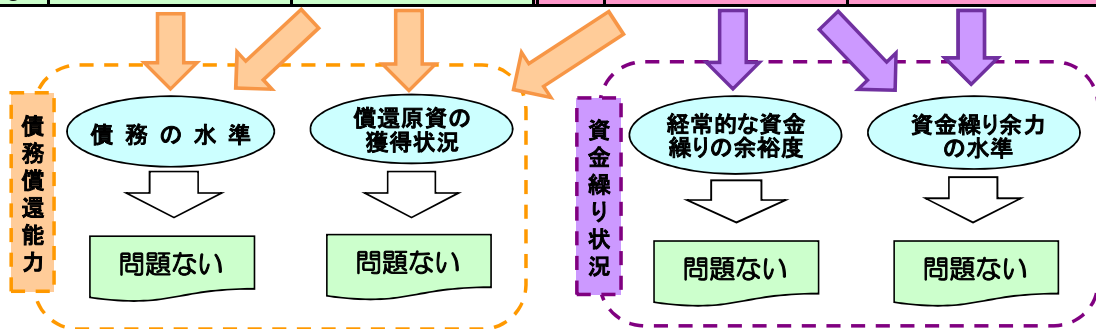
〔経常的な収支と積立金等の備えからの資金余裕状況〕

留意すべき状況にはないと考えられる

留意すべき状況にはないと考えられる

4つの財務指標結果

指標	① 実質債務月収倍率 〔 $\frac{\text{実質債務}}{\text{行政経常収入} \div 12}$ 〕 ※一月当たり収入の何ヶ月分の債務があるかを見る指標	② 債務償還可能年数 〔 $\frac{\text{実質債務}}{\text{行政経常収支}}$ 〕 ※一年間で生み出される償還原資の何倍の債務を抱えているかを見る指標	指標	③ 行政経常収支率 〔 $\frac{\text{行政経常収支}}{\text{行政経常収入}}$ 〕 ※収入からどの程度の償還原資を生み出しているかを見る指標	④ 積立金等月収倍率 〔 $\frac{\text{積立金等}}{\text{行政経常収入} \div 12}$ 〕 ※一月当たり収入の何ヶ月分の積立金があるかを見る指標
注意	24.0月		問題なし	13.3%	12.4月
やや注意	18.0月	15.0年	やや注意	10.0%	3.0月
問題なし	3.6月	2.2年	注意	0.0%	1.0月



今後の見通しと留意点等

1. 今後の財政運営について

令和3年度の財政状況について、債務償還能力および資金繰り状況いずれも当方の診断基準に抵触しておらず、留意すべき状況にはない。一方、足元の地方債残高は増加推移しており、また個人住民税や法人税といった地方税収入は減少傾向にある。

このような状況に加え、物価高騰等の課題が山積するなか、貴町では令和5年2月に「羅臼町財政健全化計画」を策定している。また、町財政に対する意識付けを目的とした財政担当者による町職員向けの財政説明会の実施や各種基金への積立など、健全な財政運営に向けて様々な取組みを行っているところである。

今後は、行政経常収支が減少する見通しであることから、令和8年度の行政経常収支率は11.5%と令和3年度よりも低下し、当方の診断基準（10%）に近づく見通しである。貴町では「羅臼町財政健全化計画」について毎年度見直すとしていることから、同計画の適切な見直しと着実な履行のうえ、引き続き健全かつ持続可能な財政運営と、財源の確保及び計画的な運用に期待したい。

2. 地域活性化に向けた取組みについて

貴町は地域活性化に向けて、「拠点づくり」や「おてつたび」といった関係人口の創出及び拡大のための取組みのほか、「Kプロジェクト」の推進や、地場産品のブランド化等の様々な取組みを行っている。

貴町は人口減少や人手不足等の課題を抱えている一方、大自然に囲まれた、全国でも数少ない世界自然遺産を擁する自治体である。今後も貴町が有する魅力を存分に生かし、「羅臼ファン」の獲得に向けた取組みに期待したい。